

2010年度

科目名	日本語史A		
担当教員	藤田 保幸		
配当	日文3	コード	12130
開期	前期	講時	月曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	古代日本語史の輪郭		
目的と概要	もっぱら講義形式によって、日本語史の流れをたどり、その概要を理解するとともに、各時代の言語資料の特色を理解することを目標とする。総花的に広く浅くではなく、日本語史Aでは、文献以前の段階から上代、そして中古への流れに焦点を当てる。		
成績評価法	主として小テストの成績によって評価するが、積極的な受講も平常点として重視する。		
テキスト	『日本語史の輪郭』／藤田保幸／(私家版)		
参考書	『日本語史要説』／渡辺実／岩波書店		
履修に当たっての注意・助言	テキストは簡潔なポイントの提示と資料を中心にまとめた私家版を用い、比較的早いペースで話していくことになるので、きちんとノートをとり、復習を心掛けることが肝要である。		
講義計画			
第1～2回	文献以前		
第3～4回	上代語の時代と資料		
第5回	「古事記」上表文について		
第6回	上代語の文字表		
第7回	上代語の語彙		
第8～10回	上代から中古へ①—音韻の変遷(1)(2)(3)		
第11回	源順をめぐる		
第12回	歌学の発生		
第13回	上代から中古へ②—文法の変遷		
第14回	上代から中古へ③—方言のこと		
第15回	まとめ・小テスト		